

2019年1月1日以降の実績

1号機

現時点での特記事項なし

2号機

・1月8日1、2号機原子炉への注水源を3号機復水貯蔵タンク(以下、CST)から2号機CSTへ変更する操作をしていた。同日午前11時49分頃、2台ある2号機CST原子炉注水ポンプの切り替え操作(B系 A系)をしていたところ、ポンプの吐出圧力が上昇し、2台のポンプが自動停止。ただちに(午前11時50分頃)2号機CST原子炉注水ポンプ(A系)を起動し、必要注水量1.1m³/hに対して、1.7m³/h以上確保されていることを確認。プラントパラメータ(注水流量および原子炉圧力容器底部温度等)およびモニタリングポストの指示に異常はないことを確認。ポンプが停止した原因等、現場状況を確認する。

また、本トラブルにあたっては、午前11時49分、実施計画第1編第18条(原子炉注水系)表18-1で定める運転上の制限「原子炉の冷却に必要な注水量が確保されていること」を満足できないと判断するとともに、CST原子炉注水ポンプ(A)を起動したことにより、必要な注水量が確保されていることを確認し、午前11時54分、運転上の制限から復帰したことを判断した。

3号機

現時点での特記事項なし

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

現時点での特記事項なし

6号機

現時点での特記事項なし

水処理装置および貯蔵設備の状況

[タンクパトロール結果]

現時点での特記事項なし

[H4, H6エリアタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果]

現時点での特記事項なし

[地下貯水槽に関する水のサンプリング結果]

現時点での特記事項なし

[セシウム除去設備]

現時点での特記事項なし

[多核種除去設備(ALPS)]

現時点での特記事項なし

[増設多核種除去設備]

現時点での特記事項なし

[高性能多核種除去設備]

現時点での特記事項なし

[淡水化装置]

現時点での特記事項なし

[RO濃縮水処理設備]

現時点での特記事項なし

[RO濃縮廃液タンク水処理設備]

現時点での特記事項なし

[その他]

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- ・一時貯水タンクA 1月1日午前9時53分～午後0時26分。排水量378m³
- ・一時貯水タンクB 1月3日午前9時59分～午後0時50分。排水量425m³
- ・一時貯水タンクC 1月4日午前10時1分～午後0時30分。排水量369m³
- ・一時貯水タンクD 1月6日午前9時59分～午後0時23分。排水量356m³
- ・一時貯水タンクE 1月7日午前10時12分～午後0時29分。排水量340m³
- ・一時貯水タンクF 1月9日午前10時1分～午後0時13分。排水量328m³
- ・一時貯水タンクG 1月10日午前9時56分～午後0時11分。排水量332m³
- ・一時貯水タンクH 1月12日午前10時～午前11時30分。排水量221m³
- ・一時貯水タンクJ 1月13日午前10時16分～午後0時28分。排水量326m³
- ・一時貯水タンクK 1月15日午前10時7分～午後0時11分。排水量305m³

<特記事項>

現時点での特記事項なし

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。

< 排水実績 >

・一時貯留タンクグループ3 1月11日午前10時5分～午後5時31分。排水量2,053m³。

< 特記事項 >

・1月15日午前10時12分頃、H3東エリアの地下水バイパス一時貯留タンクグループ1-1周辺に水たまり(底辺約10m×高さ約20m×深さ約10cmの三角形)があることを協力企業作業員が発見。地下水バイパスでくみ上げた地下水以外の可能性がないかも含め、現場状況を確認中。

[1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果]

< 特記事項 >

現時点での特記事項なし

[1号機放水路のサンプリング結果]

< 特記事項 >

現時点での特記事項無し

その他

[陸側遮水壁]

現時点での特記事項なし

[雑固体廃棄物焼却設備]

現時点での特記事項なし

[その他設備の不具合・トラブル]

現時点での特記事項なし

[けが人・体調不良者等]

現時点での特記事項なし

[その他]

・メガフロート津波等リスク低減対策工事に伴い、起重機船が港湾内に入港する際、1～4号機取水路開渠前に設置したシルトフェンスを開閉(1月9日午前11時42分にシルトフェンス開、午後1時にシルトフェンス閉)。なお、シルトフェンスは二重に設置しており、一方のシルトフェンスは、1月8日から1月10日の期間解放する。(天候により順延する可能性あり。)